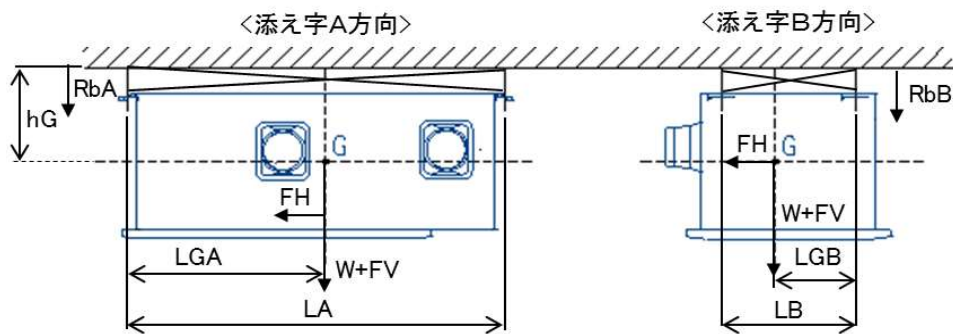


# 業務用ロスナイ耐震強度検討書

## 「LGH-N15DC」耐震強度検討書



### 計算条件

お客様ご指定条件

▶ 製品質量	W = 24.0 kg	▶ ボルトから重心までの距離	LGA = 487.0 mm
▶ 重心高さ	hG = 500.0 mm	▶ ボルトサイズ	M10
▶ 製品天面～天井面 (ボルト据付面)	325.0 mm	▶ ボルト総本数	n = 4 本
ボルトスパン	LA = 926.0 mm	▶ 片側ボルト本数	ntA = 2 本
	LB = 330.0 mm		ntB = 2 本

### 各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W×9.8	0.24 kN	0.35 kN	0.47 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.12 kN	0.18 kN	0.24 kN
アンカーボルト引抜き力	$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt}$ * L: LA又はLB, LG: LGAまたはLGB, nt: ntA又はntB	・ボルトスパンA側(RbA) 0.15 kN    0.19 kN    0.24 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.25 kN    0.35 kN    0.45 kN		
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ A: ボルト断面積 M10    0.55 cm <sup>2</sup>	0.11 kN/cm <sup>2</sup>	0.16 kN/cm <sup>2</sup>	0.21 kN/cm <sup>2</sup>

### 各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率

あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 施工方法: コンクリート厚さ120mm 埋込寸法45mm、限度100mm以下    短期許容引抜荷重: 3.8 kN	15.3 倍	10.9 倍	8.4 倍
--	--------	--------	-------

### 各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率

ボルト(SS400) 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm <sup>2</sup>	94.5 倍	63.0 倍	47.2 倍
ステンレスボルト(A2-50) 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm <sup>2</sup>	85.3 倍	56.9 倍	42.7 倍

以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する

・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。

・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。